

施設長	園長	所長	記録者
玉田	杉山	村田	小黒

社会福祉法人駿河会 地域密着型サービス運営推進会議【薬科】

日時 令和3年 6月18日 13:30～14:00

会場 ラポーレ駿河相談室

出席者

施設長	玉田直文	地域代表	森谷正義	地域包括	河村美保
園長	杉山結子	地域代表	三浦勝己	嘉響	加藤真子
所長	村田雄二	地域代表	森朝世	こだま	小林由季

事務局 本日はお時間をいただきましてありがとうございます。

では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田施設長

コロナのワクチン接種について、後ほど各事業所から詳しい報告をさせていただきますが、スタッフのワクチン接種も順調に進んでいます。ただし、ワクチンを接種して対策が終わるということではなく、これからもぬかりなくマスクや除菌などに努めていきたいと思っています。

事務局

本日の議題は令和2年度の実績報告と、地域の取組について報告させていただきます。

まず初めに、昨今のコロナウイルスに対する通所事業所の対応についてご報告させていただきます。

●通所事業所における、新型コロナウイルスへの対応

- ・職員のワクチン接種については現在摂取進行中
- ・BCPの作成
- ・PCR検査を実施する場合の判断基準委について

以上コロナへの対応についてご報告させていただきました。

それでは、ここからは こだま、嘉響の順で、各担当者から報告させていただきます。

こだま（小林） 添付書類参照

嘉響（加藤） 添付書類参照

薬科包括

S型デイサービスについては現在ほとんどが休止しているが、清沢の赤沢地区では1時間で開催している。自粛による行動制限で認知機能や体力の低下が危惧される為、必要な方には介護サービスが利用できるよう支援を行っている。

中薬科地区の買い物支援はコロナワクチン接種がすんでから再開する事となっている。

現在は摂取会場への送迎や予約の手伝いなどをボランティアが中心に行っている。

- 事務局 以上、こだま、嘉響における令和2年度実績の報告と地域の実情についてでした。
各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。
森谷さん、三浦さん、森さん、「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか？
- 三浦委員 コロナの話で言えば、昨年から行事やその他の集まりはほぼ中止になっていますね。私の地域でも上半期は集まりを中止していますが、社協からの話で屋外であればS型デイ等を行っても良いとの話もあり、S型デイに代わってグランドゴルフをやるようになっています。また、ワクチンの予約代行については自治会の事務所で大変な人に対するの援助も行っています。中薬科の取組のように、個人では大変な人には援助が出来る仕組みがあると良いと思います。
- 森谷委員 このコロナ禍においては、皆の精神面がとても落ち込んでいるように感じています。何をすれば精神面の活力が向上するのか、雰囲気を上げるにはどうするのかということを以前より考えていました。デイを利用される方たちの精神面はどうですか？
- 嘉響（加藤） デイを利用されている方たちの中にも気持ちが落ち込んでしまう方もいらっしゃいますが、皆で集まって話をしたり活動をしたりするなかで皆さん明るくなっている様子もあります。
- 森委員 私の地域ではあまりコロナに対して過敏に反応するようなことがなく、地域の人たちもマスクを着用したりすることが少ないように思います。ただ、以前は農協に集まって皆で話をしていた事等の機会も最近はなくなり、地域の集まりもないため、話をする機会は減っています。デイに行く人達のように集まる場所がある人達はそれを楽しみに、集まる機会がない人たちでも畑で農作物を作る活動を継続している人が多いので、そういった活動を通して明るく過ごしている人もいると思います。
- 村田所長 皆で集まって話をしたり、活動に参加して楽しむ事で免疫を上げる効果も期待できると思います。デイサービスに来ている人だけでなく、法人の活動で何か地域の方達につながる取組についてもこれから考えていく必要があると考えています。
- おわりの挨拶
杉山園長 先日、晃の園へ相談の電話がかかってくるがありました。内容としては「ワクチン接種を晃の園でできないか」というものでしたが、外部の方にワクチン接種を行う事は難しい旨の説明をすると、詳しい話をお伺いする前に電話が切れてしまいました。今日お話を聞いて、そういった声をあげられないけど困難を抱えている方に対して自治会やボランティアの方達が働きかけて下さっている事が知れて安心しました。これからも皆様の協力を得て、地域の皆様と共に運営をしていきたいと考えています。本日はありがとうございました。
- 事務局 これで会議を終了とさせていただきます。
次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。
本日はありがとうございました。

デイサービスセンターこだま令和 2 年度実績報告

2021 年 6 月 18 日 地域密着推進会議

近況報告

前年度の下半期での報告の際、お伝えしたように新型コロナウイルスへの対応を継続して実施しています。こだまの利用者は認知機能が低下している方が多く利用しています。常にマスクを着用することや、自分で意識して予防することが難しいです。その中で出来る事として、職員自身がマスクの着用や除菌等、感染予防に気を付けています。又、感染しにくい環境づくりとして、オゾン発生器の使用や、人と人との距離を持つこと、清掃・換気に常に気を配っています。今のところ、職員、利用者共に、感染者、濃厚接触者になることなく、元気に過ごすことが出来ています。

・収入、利用者数の減少

一人当たりの利用回数の減少が減少している事が要因ではないかと考えられます。以前はほとんどの方が週 3 回程利用され、多い方では週 5~6 回利用されていました。現在は、週 2~3 回利用が多く、週 1 回利用や月 2 回のみ利用される方も数名います。

また、令和 2 年度新規利用者の半数は、長期入所や体調不良等の理由で終結になり、短期間で終結も増えています。

地域に向けた活動

・清沢まつり、大川収穫祭

例年、11 月に清沢まつり、大川収穫祭に参加させて頂いていましたが、昨年はコロナ禍の為、開催中止になりました。

・地域清掃

前年度は、利用者と共に神社や歩道の掃除を行っていましたが、現在は、利用者の状態の変化があり、現在は参加できる方がいない状態です。今後、出来ることを検討しながら活動に取り入れていきたいと思っています。

ワクチン接種も始まり、以前の様な生活に戻っていくのではないかと思いますので、今後は多くの方に安心して利用して頂けるような環境を整えながら、より良いサービスの提供を検討していきたいと思っています。

R3年度 第1回運営推進会議

開催日：令和3年6月18日（金）

①R2年度実績報告

評価：R2年度の新規利用者は事業対象者や要支援認定の方が多く、終結者は要介護認定の方が多かった。終結の理由としては、状態変化による他施設への入居、ご本人が亡くなったことによるサービス終了が目立った。前年度に比べると稼働率は下がっており、要介護認定の利用者の終結が多かったこと、新型コロナウイルスのピークに合わせて、利用を自粛する利用者も目立ったことが稼働率低下の一因ではないかと考える。

近況：前年度は「ニーズを聞き応えられる嘉響を目指す」を目標として掲げ、利用者の満足度向上の取り組みとして、利用者の「したいこと」「やりたいこと」を聴き取り、ニーズをケアプランに反映させることで、より良いサービスを提供してきた。目標達成率は、100%として結果を残したが、職員の中で不消化な部分や手ごたえがつかめなかったとの反省があった。評価が職員目線だけのものだったこと、利用者と一緒に目標達成の評価や効果の確認をしていなかったことが不消化や手ごたえの無さに繋がったと考えた。

前年度の反省を生かし、今年度は「『今日来てよかった』と思える嘉響にしよう」という目標を掲げ、午後の活動の時間に着目し、利用者が自分の好きな活動を選択し、職員や他の方たちと一緒に活動に取り組み、一緒に達成感を評価、効果の検証をすることが前年度の反省を生かしつつ、サービスの質の向上にも繋がると考える。家族と外出することもなくなり、地域のS型デイサービスが休止したことによって交流する機会や運動をする機会もなくなったため、嘉響にきて同じ地域の方とお話をしたい、理学療法士からの運動指導をしてほしいといった声を大事にして、利用者が「今日は嘉響にきて良かったな」と思っただけのように一緒に活動を作り上げてきたい。

②地域との関わり

・平成28年から行ってきた雑巾寄贈は、昨年度は新型コロナウイルスの蔓延により、こども園への雑巾寄贈が出来なくなり、雑巾を作ってくださる利用者のやる気も低下。徐々に衰退していった。清沢農業祭も中止となり、地域との関わりが薄くなった一年だった。今年度はコロナ禍でも、地域貢献ができるように方法を模索していきたいと考える。